

講義コード	11C0112201	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	国際経済学Ⅰ				神野 真敏			第1期	
履修前提条件					備考				
授業の目的	海外との貿易や企業のグローバルな活動からたいへん大きな利益を受けています。しかし、貿易による利益は国内の人々に等しくもたらされているとは限りません。海外からの輸入品におされて市場から撤退を余儀なくされた国内生産者や、海外への進出によって雇用の減少や地域経済の衰退も懸念されます。海外とのかかわりあいは、複雑な影響を国内にもたらします。このような貿易を通じた影響を理論的に解説するのが本講義になります。								
到達目標	貿易を通じた影響を理論的に説明できるようになる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業で扱う内容に関して教科書や参考書を参照して予習してくることに。さらに、授業後は配布資料と教科書を照らし合わせ、知識の定着に勤めること。上記の予習と復習に学外において60時間を費やすこと。								
授業計画	【第1回】講義の概要－世界の通商システムと日本－ 【第2回】貿易の基本モデル（1）：部分均衡分析 【第3回】貿易の基本モデル（2）：2財の貿易モデル 【第4回】リカードモデル 【第5回】ヘクシャー＝オリーソン・モデル 【第6回】不完全競争と国際貿易 【第7回】完全競争と貿易政策 【第8回】不完全競争と貿易政策 【第9回】生産要素の国際移動 【第10回】地域経済統合とその理論 【第11回】海外取引と国際収支 【第12回】外国為替市場と外国為替レート 【第13回】外国為替相場決定理論 【第14回】外国貿易と国民所得水準の決定 【第15回】開放経済のマクロ経済政策とまとめ								
成績評価の方法	期末試験のみで評価します								
フィードバックの内容	適宜理解度を測る調査を行い、そのフィードバックを授業内にて行います								
教科書	『コア・テキスト 国際経済』大川 昌幸（新世社）2015								
指定図書									
参考書	『コア・テキスト 国際金融 第2版』藤井 栄次（新世社）2013、『国際経済学 国際貿易編』中西 訓嗣（ミネルヴァ書房）2013、『国際経済学入門 国際貿易編』ケイブズ・フランケル・ジョーンズ（日本経済新聞社）2003								
教員からのお知らせ	国際経済学Ⅱとの併修が望ましい								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します								
その他									